

【学校教育目標】 「楽しい学校」の構築
 ～やさしく、かしこく、たくましい二俣小っ子の育成を通して～

【目指す学校像】
 地域・家庭の協力を支えられ、児童も教師も
 学校へ来るのが楽しいと感ずることができる学校

【目指す教師像】
 一人一人の児童と誠実に向き合い、元気で、
 児童と共に向上しようとする教師

目指す子ども像と重点目標

自分と友達を大切にする子ども

やさしくプロジェクト
円滑な人間関係の育成
 ◇相手を思う心を育てるために、様々な人との関わりを大切にします。
 ・縦割り活動を通して、下学年に優しく接したり、上学年に感謝したりする心を育む。
 ・教育活動全体を通して、互いに助け合うとともに個々の良さを認め合う心を育む。

音楽活動の推進
 ◇児童が一体感を味わうことができるように、音楽活動を推進します。
 ・表現や鑑賞の活動を通して、音楽に対する感性を育てる。
 ・今月の歌や行事の歌を歌う活動を通して、音楽を共につくり味わう経験を積ませる。

主体的に考え学ぶ子ども

かしこくプロジェクト
読書活動の推進
 ◇読解力を身に付けるとともに、新たな気付きを見つけようとする態度を育成します。
 ・読書タイムやすきま読書、学級単位での図書室利用、親子読書を含む家庭での読書活動を推進する。
 ・読書アニメーションの取組を充実させ、読書に親しむ習慣形成と読解力の向上を図る。

授業改善の推進
 ◇児童が主体的に学習に取り組み、友達との相談大切しながらより深く理解しようとする授業を展開します。
 ・基礎・基本の定着を図るとともに、タブレットを活用し個別最適な授業展開を工夫する。
 ・学習する必要性を感じることができる授業づくりに努める。

根気強く努力する子ども

たくましくプロジェクト
体力の向上
 ◇体力・運動能力の向上を目指し、運動習慣の形成に努めます。
 ・教科体育の授業や体力テスト、スポーツタイムを通して自身の課題を見つけ、目標を達成するために挑戦する心を育む。

忍耐力の育成
 ◇自分の目標の実現に向けて、根気よく努力する態度を育てます。
 ・小さな「できる、できた」を実感することができる機会を積極的に設定し、達成感や自己肯定感を味わわせることで、努力することの大切さに気付かせる。

努力事項

- 1 活力ある開かれた学校づくり
 ○学校運営協議会と協力し、地域を愛する心が育成されるように、地域のよさに気付くことができる教育課程を編成します。
- 2 心の教育の充実
 ○児童の好ましい人間関係を形成するために、トラブルを回避する力や問題を解決する力を身に付けることができる支援に心掛けます。
 ○集団の中で、豊かな人間関係を築くために、コミュニケーション力の向上を図ります。
- 3 「確かな学力」の定着に向けた指導の充実
 ○児童一人一人の教育的ニーズを把握し、個性を伸長するために、個別最適な指導及び支援を行い、「分かる・できる」を実感させることに心掛けます。
- 4 安全教育の充実
 ○自分の命を大切にし、楽しい学校生活を送れるように、防災タイムや避難訓練等の充実を図ります。